

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1 部 2 年 2 部 3 年	保育・教職実践演習	重安 智子	
サブタイトル	保育者としての指導力を高める	単 位 数	2
授業形態	演習		
開講時期	後期	出席要件	4／5 以上
到 達 目 標			
1 これまでの授業や教育実習での学びから保育者としての資質・能力に関する課題を自覚し、その解決を目指すことができる。 2 保育者の使命や職務について自覚するとともに幼児理解を深め、教育的愛情の重要性を認識し、指導力を高めることができる。 3 組織の一員としての自覚をもつとともに、保護者との良好な関係を構築する力を身につけることができる。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
・幼児教育に対する情熱・使命感・責任感をもち、子どもの発達に即した援助を行うための専門知識を習得する。 ・多様な協働学習を通して、豊かな人間性を身につける。 ・カリキュラムマップの「保育を構築する」の2年次・3年次の後期に位置づいており、幼児教育の専門性を高めることができる。			
授 業 の 方 法			
1 様々な教育課題について、事例検討や映像から保育者の役割や指導のあり方等について、ワークシートやグループ討議を中心に実践的に学ぶ。 2 各自の課題を明確にし、その解決を具体的な保育の場面を想定した指導計画を作成し、模擬保育を行うとともに、評価をし合う。 3 毎授業、振り返りを行い、「学修の記録」として記述する。			
テキスト・教材・参考図書			
テキスト：『教職実践演習－幼稚園教諭・保育士・保育教諭を目指すために－』塩美佐枝・古川寿子・重安智子・井口厚子・河合優子・関口明子 聖徳大学出版会 2024 年 参考図書：『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説・幼稚園教育要領解説・保育所保育指針解説』フレーベル館 2018 年 参考図書：『幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開』チャイルド本社 2021 年 参考図書：『幼児理解に基づいた評価』チャイルド本社 2019 年 参考図書：『指導と評価に生かす記録』チャイルド本社 2021 年			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
1 保育者の使命や職務について自覚し、教育課題等について指導の具体的な内容を説明できる。 2 各自の課題を明確にし、具体的な保育場面を想定してその解決を図ることができる。 3 ワークシートへの記述、グループ討議等への主体的な意欲や態度等、評価する。		最終レポート 50％ ワークシート・指導案、模擬保育、振り返り等 50％	
履修上の注意事項や学習上の助言など			
・学修の記録等の記述を通して、保育者としての自分と向き合いましょう。 ・各自が保育者になるという強い意識をもって、積極的に参加しましょう。 ・グループ討議では司会、記録、発表を分担します。			

科 目 名 保育・教職実践演習

授 業 回 数 別 教 育 内 容		身につく資質・能力
1 回	＜ガイダンス 幼稚園・保育所・こども園の役割と目指す保育者像＞ ・自己課題を意識し、目指す保育者像を明らかにする。	授業の概要理解 自己課題の認識 目指す保育者像
2 回	＜幼稚園教育要領・保育所保育指針等の理解＞ ・幼児期の教育のあり方を理解する。 ・自己課題を認識し、保育者としての必要な力を身につける。	教育内容についての理解
3 回	＜安全教育の理解＞ ・生活安全・交通安全・避難訓練・遊具の点検・感染予防等の安全について理解を深める。	安全教育に対する理解
4 回	＜いじめなどの教育課題と学級経営＞ ・DVD の視聴を通し、幼児期のいじめについて考える。 ・幼児の具体的な言動の意味を知り、心理的側面も含めて幼児理解を深め指導のあり方を考える。	幼児理解 教育的愛情 学級を運営する力
5 回	＜特に配慮を要する幼児への支援＞ ・特別な配慮を要すると思われる幼児、発達が気になる幼児等の幼児の内面を理解し、指導・援助について考える。	幼児を理解する力 一人一人を生かして学級を運営する力
6 回	＜幼児教育と小学校教育の接続の方策＞ ・幼児教育と小学校の接続について、生活の変化や幼児の実際の姿を理解する。 ・「保幼小架け橋プログラム」について理解する。	小学校生活の理解 小学校教育の理解 架け橋プログラム理解
7 回	＜幼児教育と小学校教育の接続の方策＞ ・幼児教育と小学校の接続、連携の課題について考える。 ・「指導要録」の意義や記入の方法等について理解する。	接続・連携の課題把握 指導要録の書き方理解
8 回	＜家庭との連携・保護者対応＞ ・家庭との連携の意義や保護者理解、連携の方法について討議する。 ・事例を基に、ロールプレイを行い具体的な方法を考える。	保護者理解 保護者連携の理解 対人関係力
9 回	＜幼児期の発達に応じた指導と発達に応じた模擬保育の立案＞ ・年間計画を基に、年齢・発達に即した保育内容や方法、幼児の姿について理解し、指導計画を立案する。	幼児期の発達特徴理解 具体的に教育内容を構想する力 協議力・協働する力
10 回	＜指導計画の作成＞ ・各自で作成をした指導計画を基に討議し、互いに学びを深める。 ・幼稚園教育要領の内容や年間計画等を確認しながら、指導案を作成する。	幼児期の発達特徴理解 具体的に教育内容を構想する力
11 回	＜指導計画の作成＞ ・各自で作成をした指導計画を基に討議し、互いに学びを深める。 ・幼稚園教育要領の内容や年間計画等を確認しながら、グループで 1 枚の指導案を作成する。	幼児期の発達特徴理解 具体的に教育内容を構想する力 協議力・協働する力
12 回	＜模擬保育の実践と評価＞ ・模擬保育を実践する。 ・幼児の発達に即した指導を行うことができるように、互いに評価して学び合う。	具体的に保育を展開する力 適切に援助する力
13 回	＜模擬保育の実践と評価＞ ・模擬保育を実践する。 ・幼児の発達に即した指導を行うことができるように、互いに評価して学び合う。	具体的に保育を展開する力 適切に援助する力
14 回	＜模擬保育の実践と評価＞ ・模擬保育を実践する。 ・幼児の発達に即した指導を行うことができるように、互いに評価して学び合う。	具体的に保育を展開する力 適切に援助する力
15 回	＜模擬保育の振り返りとまとめ＞ ・模擬保育を相互に評価した内容を基に、模擬保育の改善点を検討する。	よりよい保育を展開する力 改善する力 協働する力